



# 2024年3月期 決算説明資料

2024年6月19日

東証スタンダード市場 コード：7264

<https://www.muro.co.jp>

株式会社  コーポレーション

I . 2024年3月期 決算概況

II . 2025年3月期の見通しと今後の戦略

# I . 2024年3月期 決算概況

## 1. 自動車業界の動向

- 国内生産は前年比7.12%増の867万台、国内販売は同3.26%増の452万台、輸出は同15.48%増の446万台となった。

※2023年4月～2024年3月累計累計

- 日系自動車メーカーの海外生産台数は、前年比3.2%増の1,751万台となった。

※2023年1月～12月累計

注) 一般社団法人日本自動車工業会 統計データ より (2024.6.3現在)

## 2. 当社事業の状況

- 金属関連部品事業

部品供給が正常化したことによる客先生産増と海外拠点でも原材料の価格転嫁が進んだこと、円安により海外子会社の円換算売上が増加したこと等により売上増となった。

- 樹脂関連部品事業

タイ子会社IGARIINDUSTRY(THAILAND)CO.,LTD.で生活雑貨品目の受注増加により売上が増加したことと、いかり産業でも売上が回復したことにより売上増となった。

- その他事業

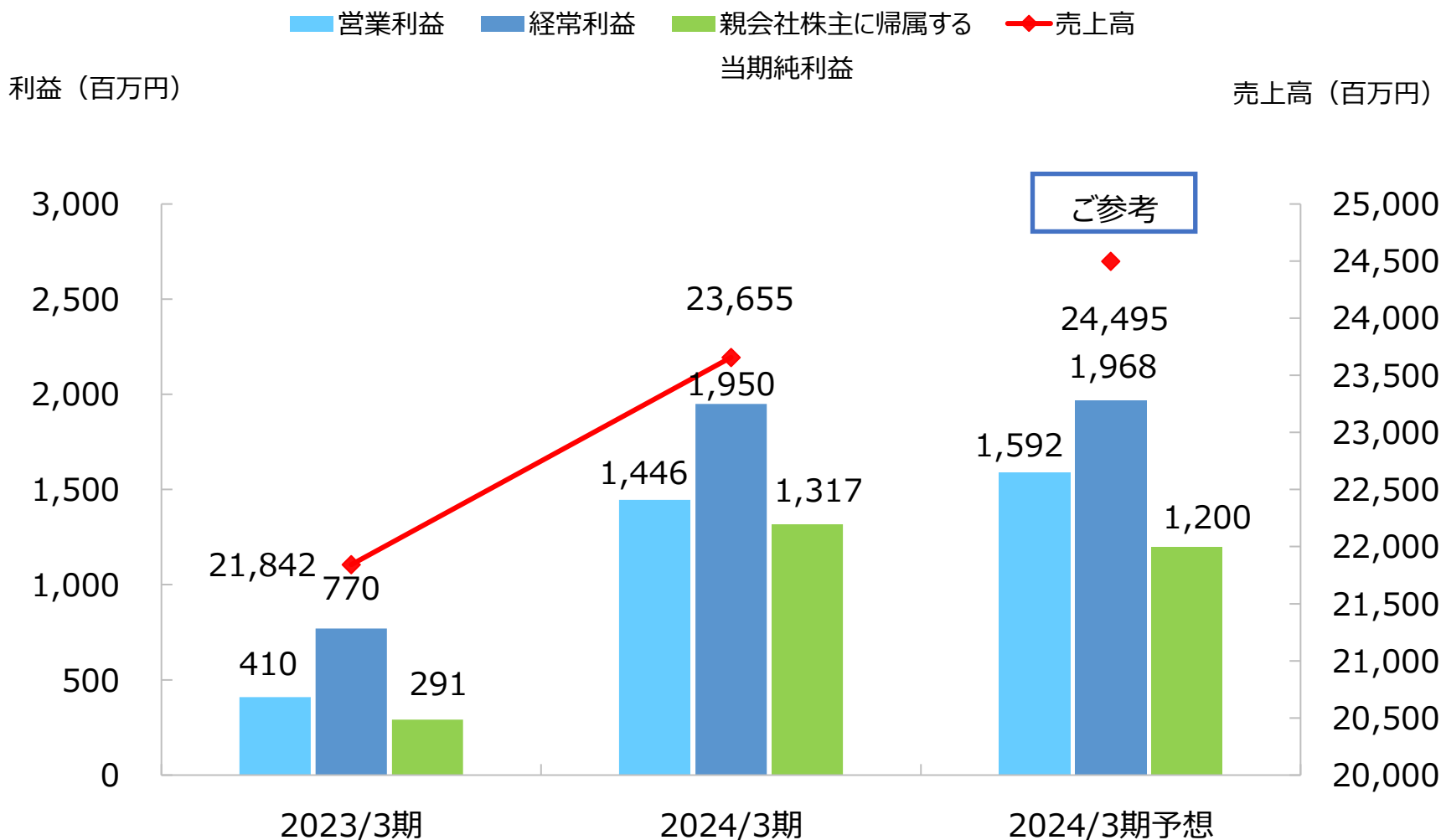
海外は市場の回復により米国と欧州で増加し、国内はトラック市場及び建築市場の回復と新規販売により増加したことにより売上増となった。

## 3. 連結業績

売上高：	23,655百万円	(前年比 8.3%増)
親会社株主に帰属する当期純利益：	1,317百万円	(前年比 351.9%増)

# 売上高・利益の推移

連結

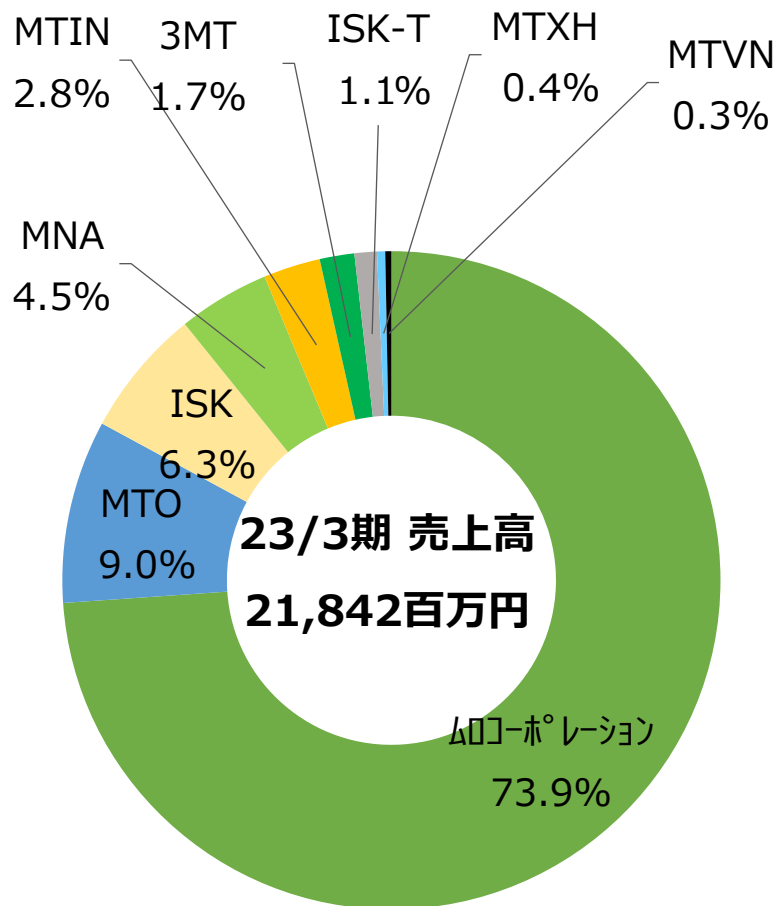


2023年11月13日開示

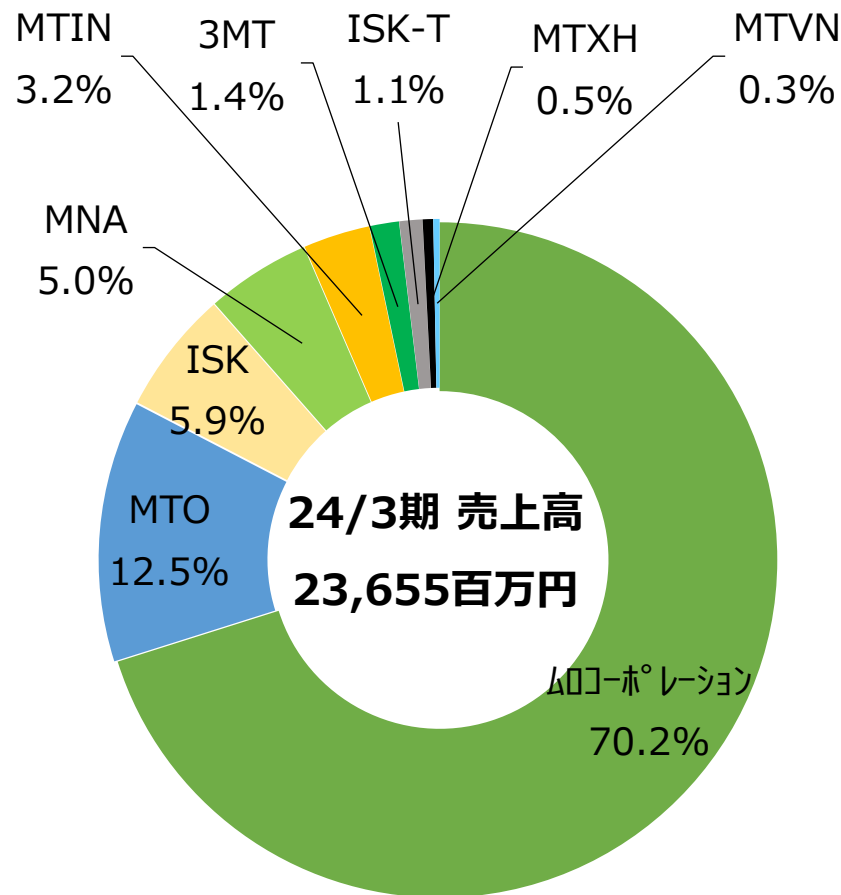
# グループ会社の売上比率

連結

拠点詳細 : <https://www.muro.co.jp/company/abroad.html>



\*MTO (北米)、MNA (カナダ)、MTIN (インドネシア)、MTVN (ベトナム)、ISK-T (タイ)、3MT(タイ)、MTXH(中国) : 2022/12期



\*MTO (北米)、MNA (カナダ)、MTIN (インドネシア)、MTVN (ベトナム)、ISK-T (タイ)、3MT(タイ)、MTXH(中国) : 2023/12期

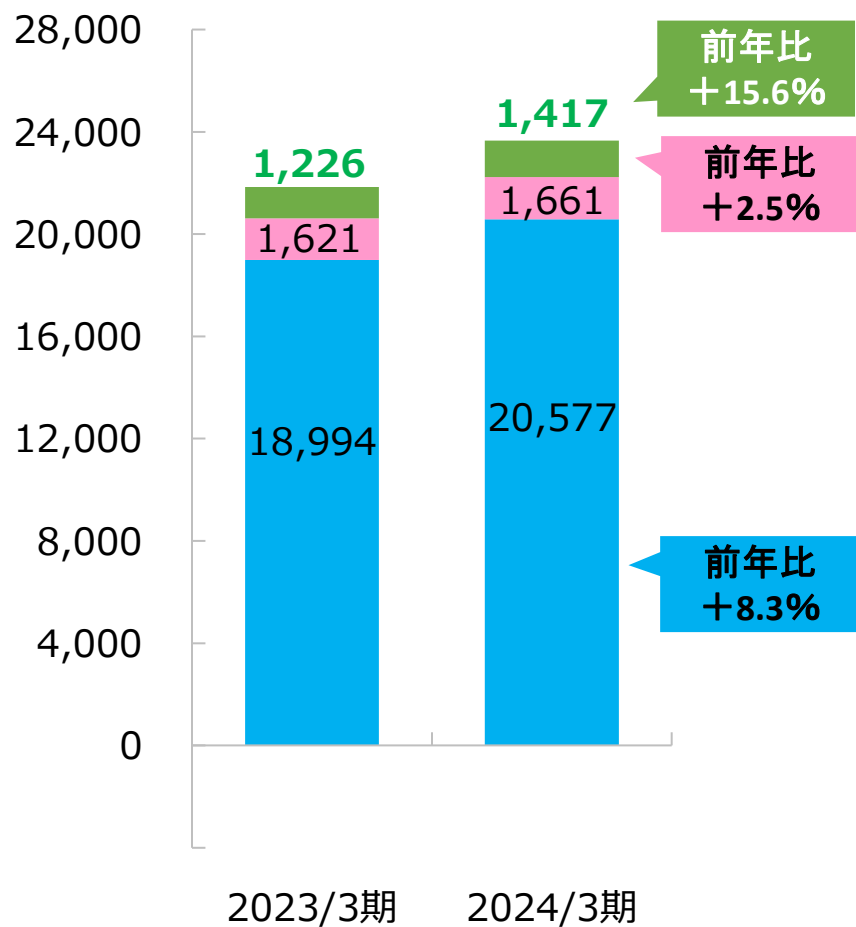
※上記グラフは、内部取引消去後の売上比率を表わしています。※ ISK:いがり産業

# セグメント別売上高・利益の推移

連結

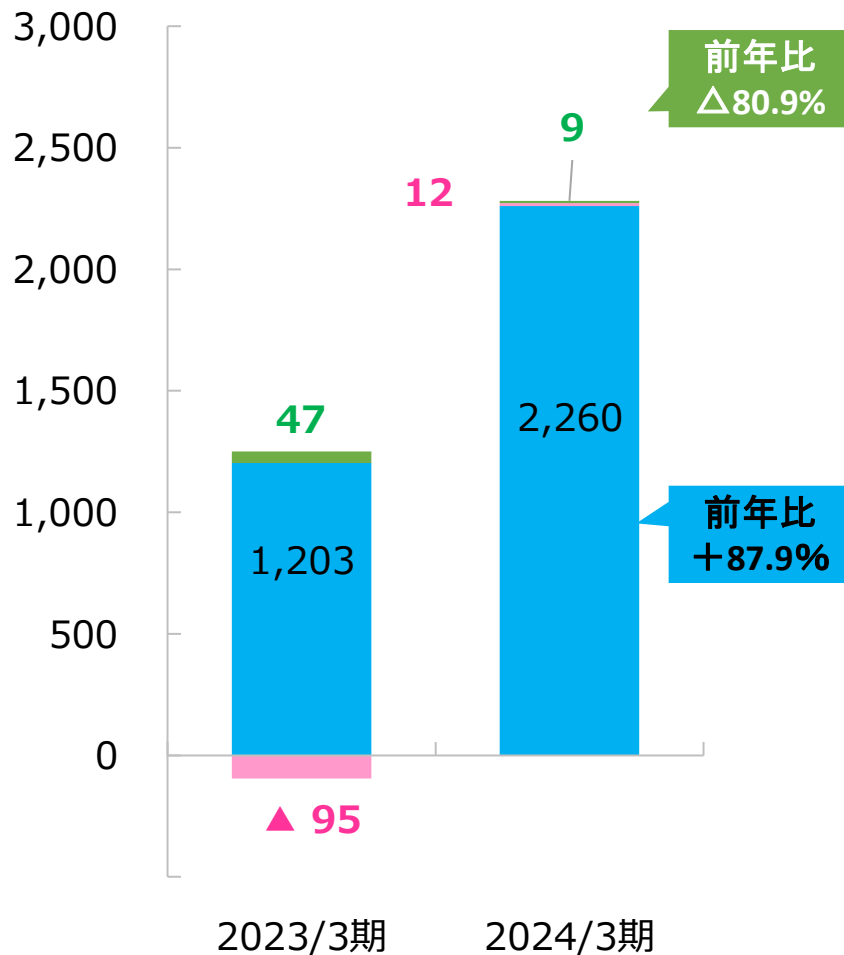
(百万円) 売上高

■ 金属関連部品事業 ■ 樹脂関連部品事業 ■ その他



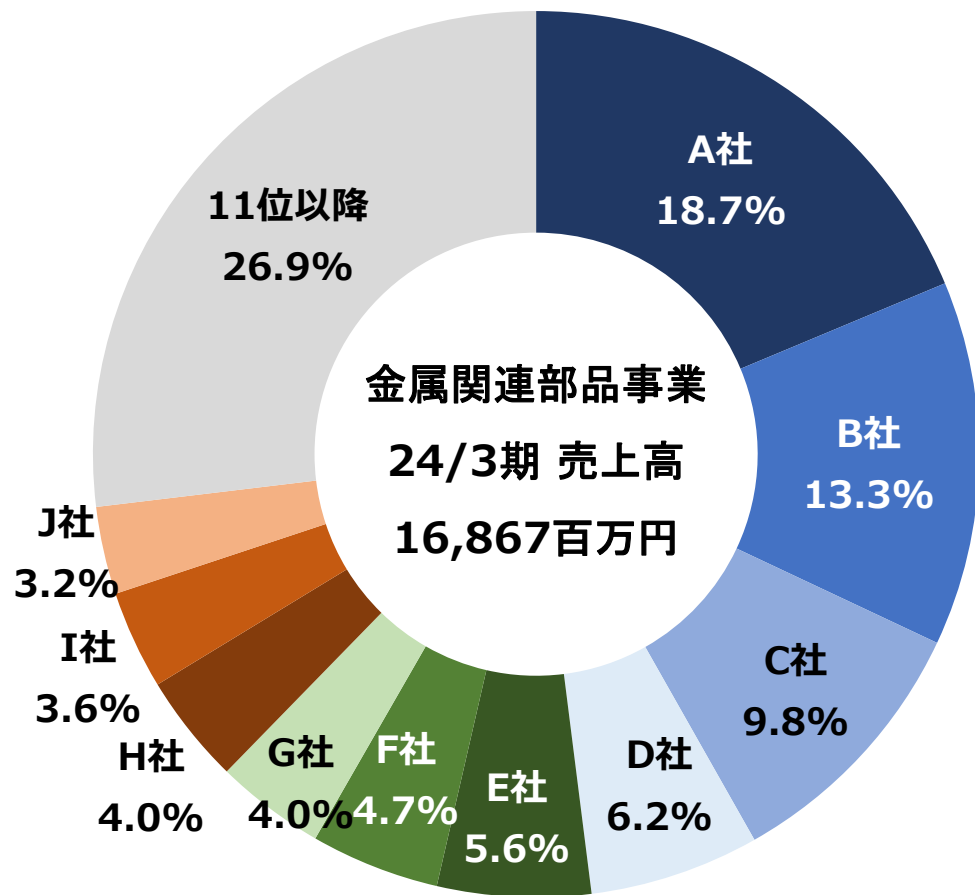
(百万円) セグメント利益/損益

■ 金属関連部品事業 ■ 樹脂関連部品事業 ■ その他



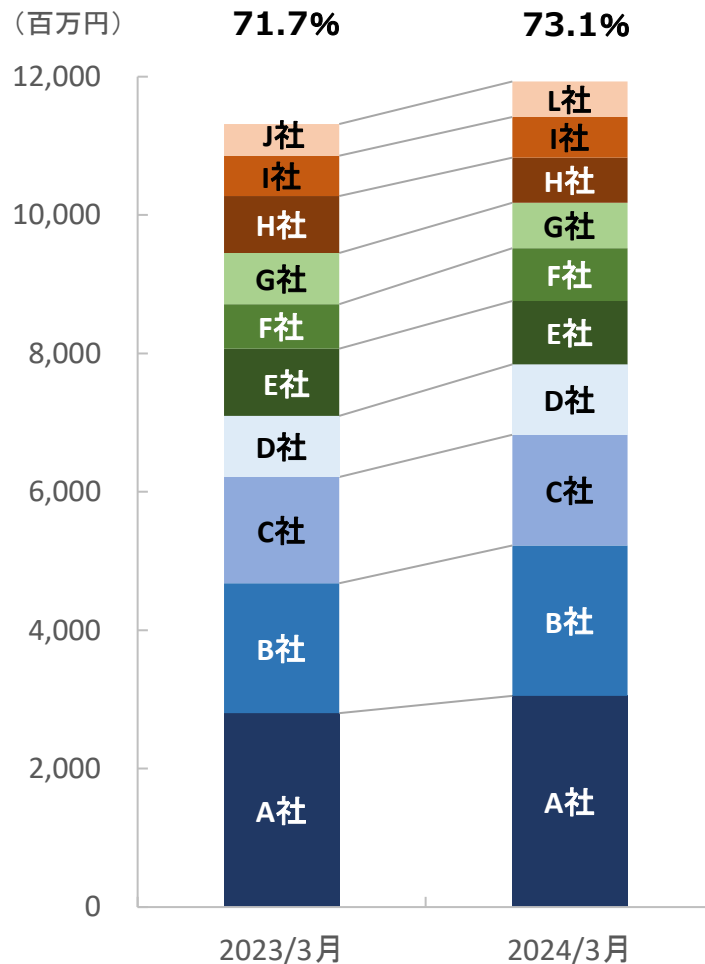
# 金属関連部品事業 取引先別売上高

単体

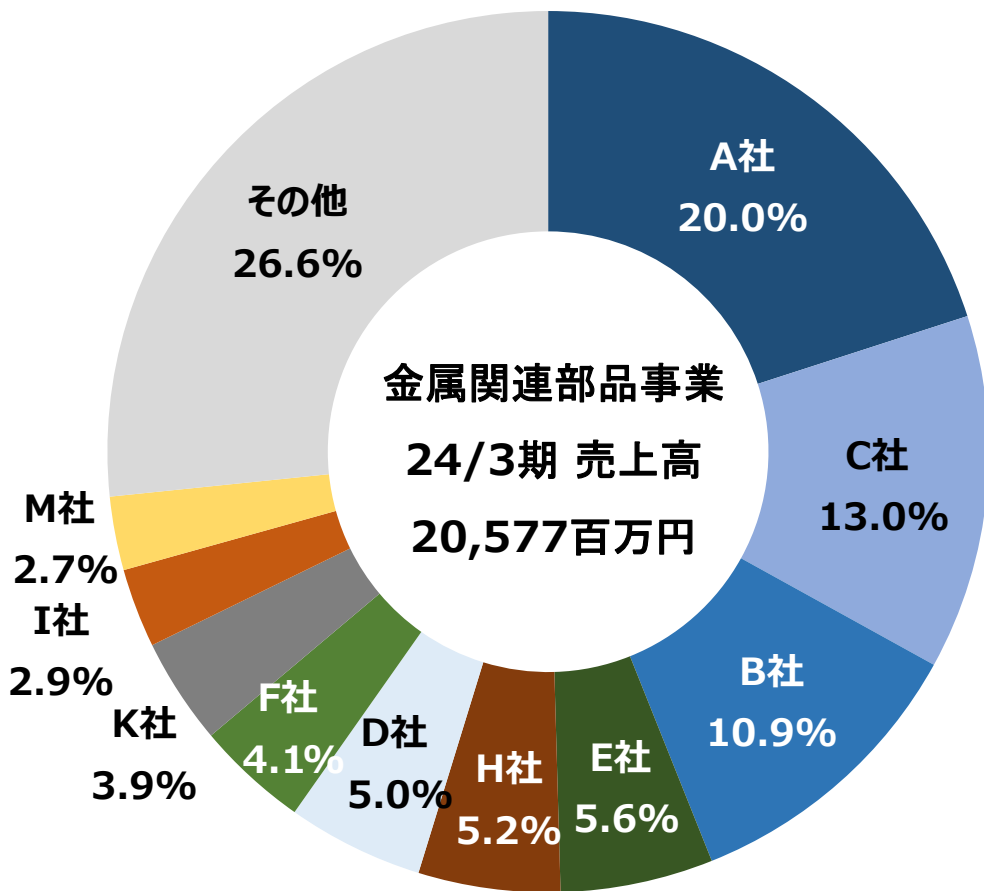


※前年実績：16,376百万円

取引先別売上高（実績）上位10社

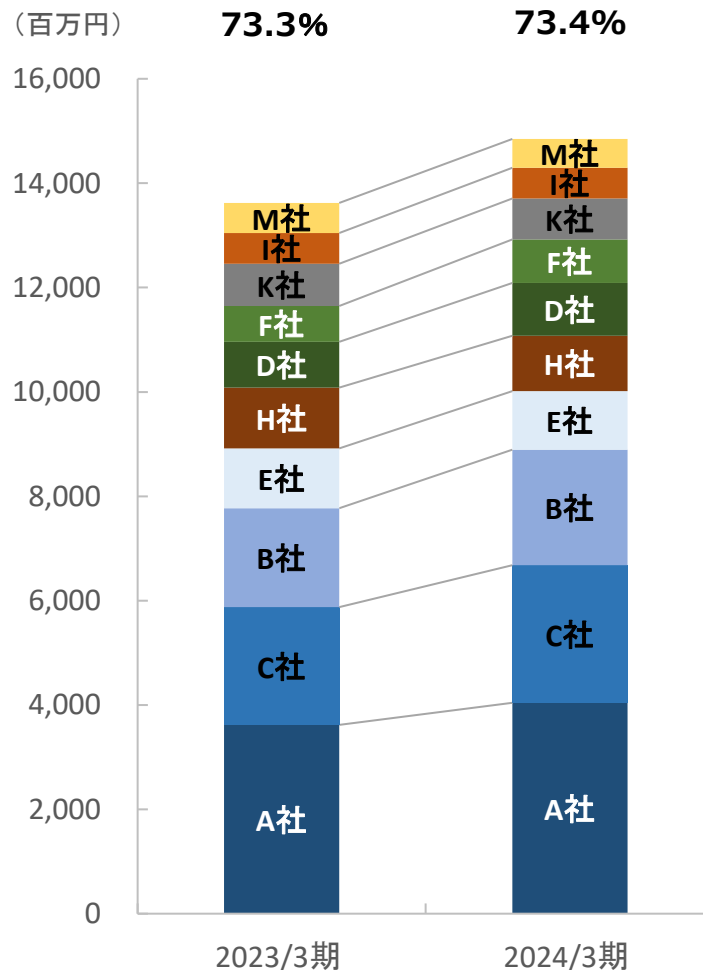




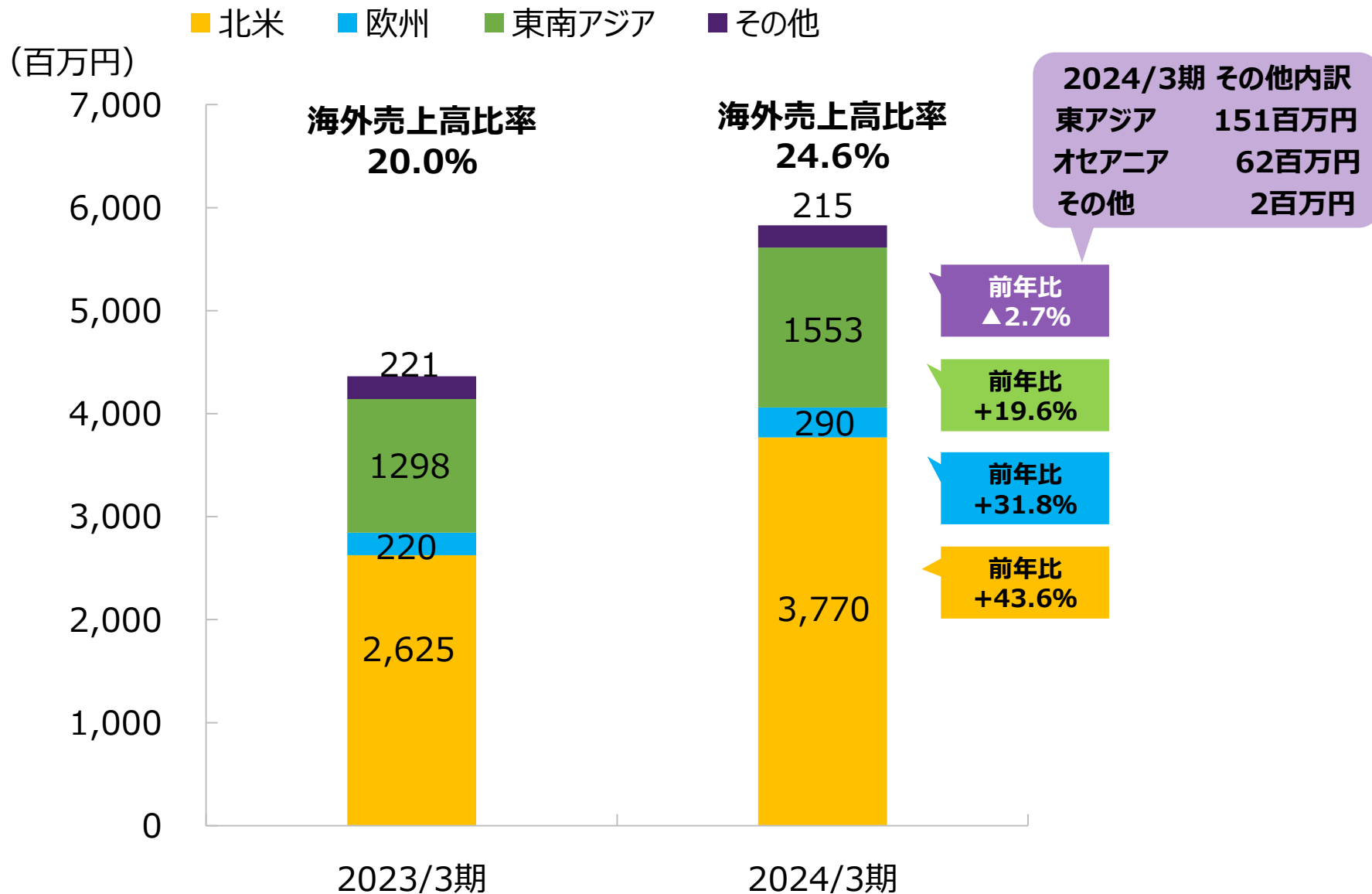


※前年実績 : 18,994百万円

取引先別売上高 (実績) 上位10社

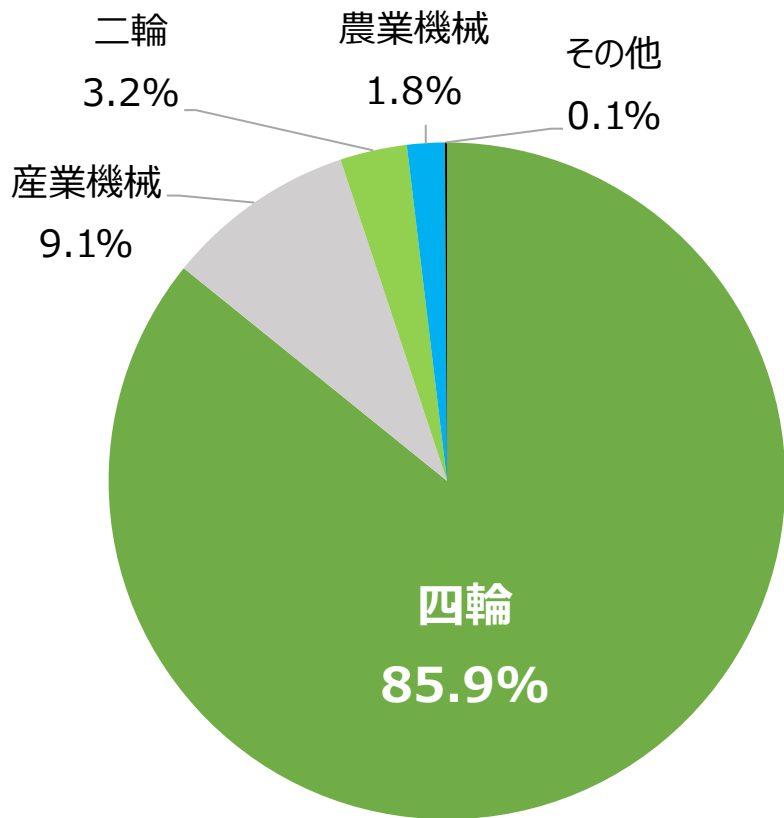


# 海外売上高



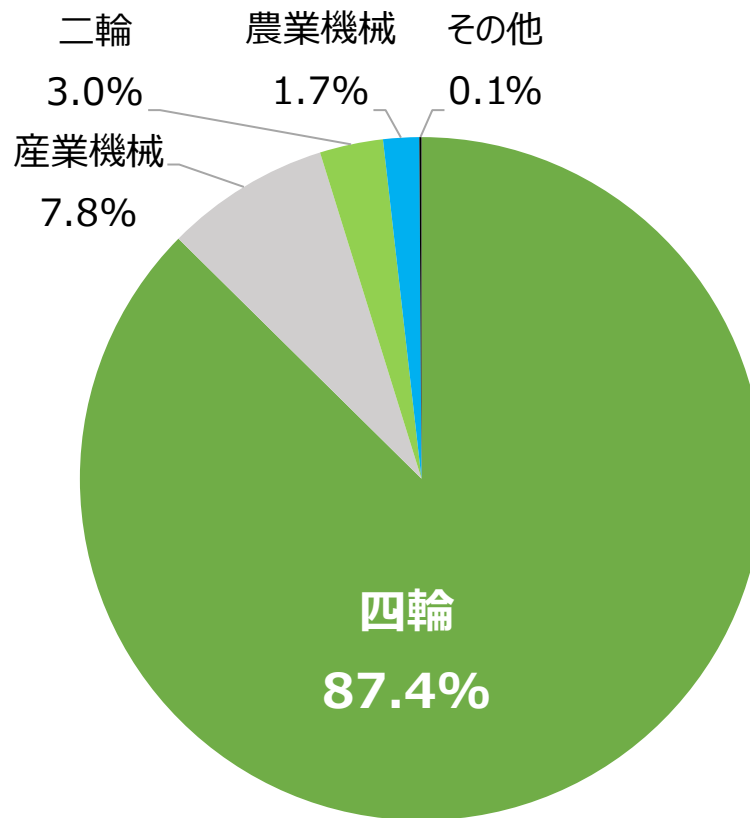
# 金属関連部品事業 セグメント別売上比率

単体



■ 四輪 ■ 産業機械 ■ 二輪 ■ 農業機械 ■ その他

2023/3期 売上高 16,376百万円

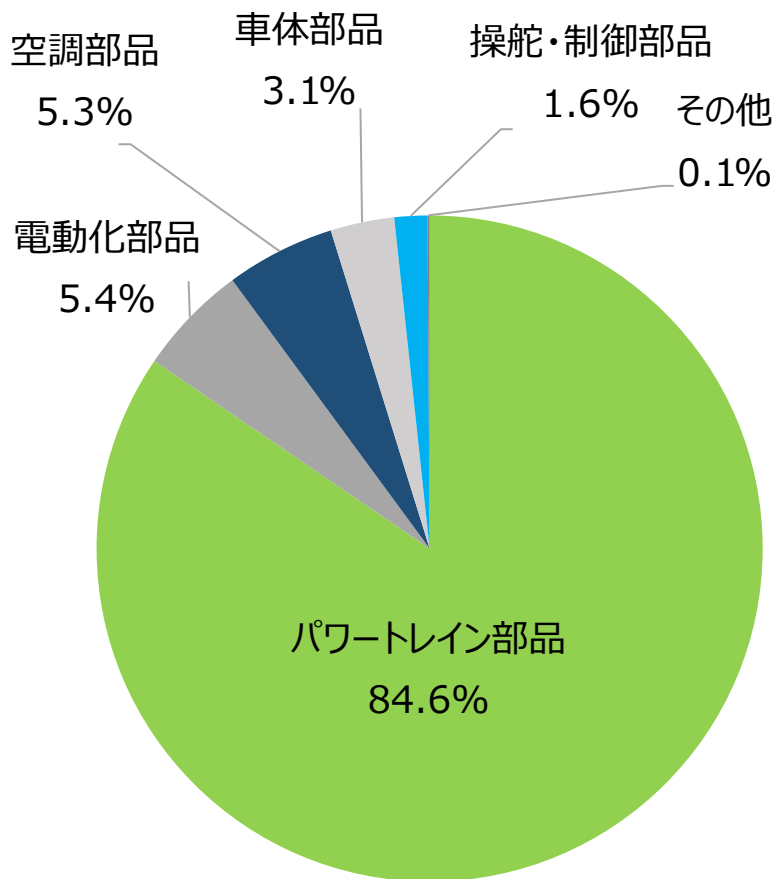


■ 四輪 ■ 産業機械 ■ 二輪 ■ 農業機械 ■ その他

2024/3期 売上高 16,867百万円

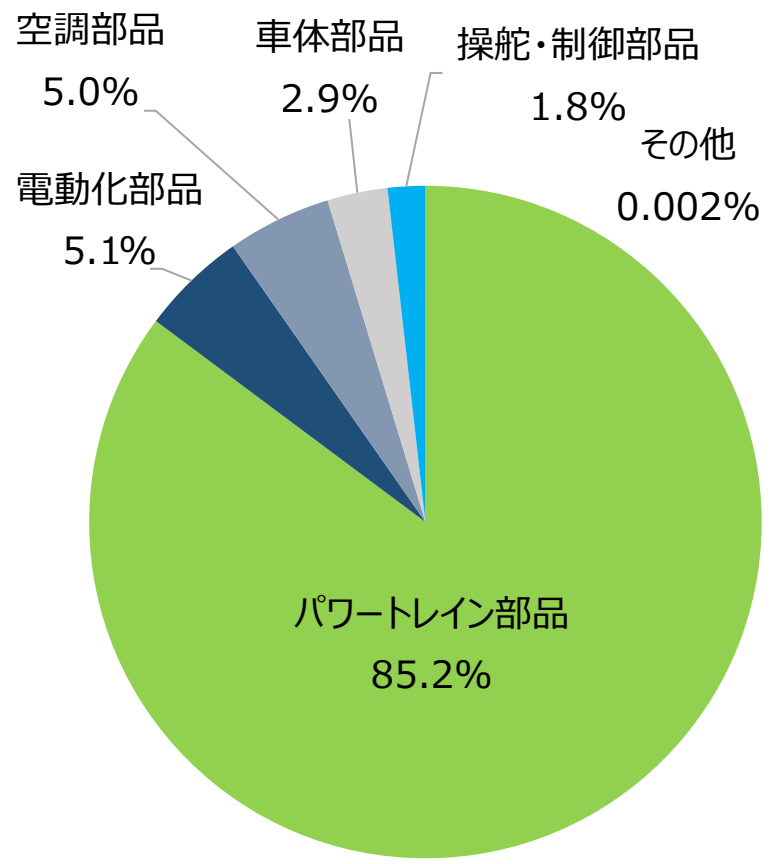
# 金属関連部品事業 四輪内訳売上比率

単体



- パワーTRAIN部品
- 電動化部品
- 空調部品
- 車体部品
- 操舵・制御部品
- その他

2023/3期

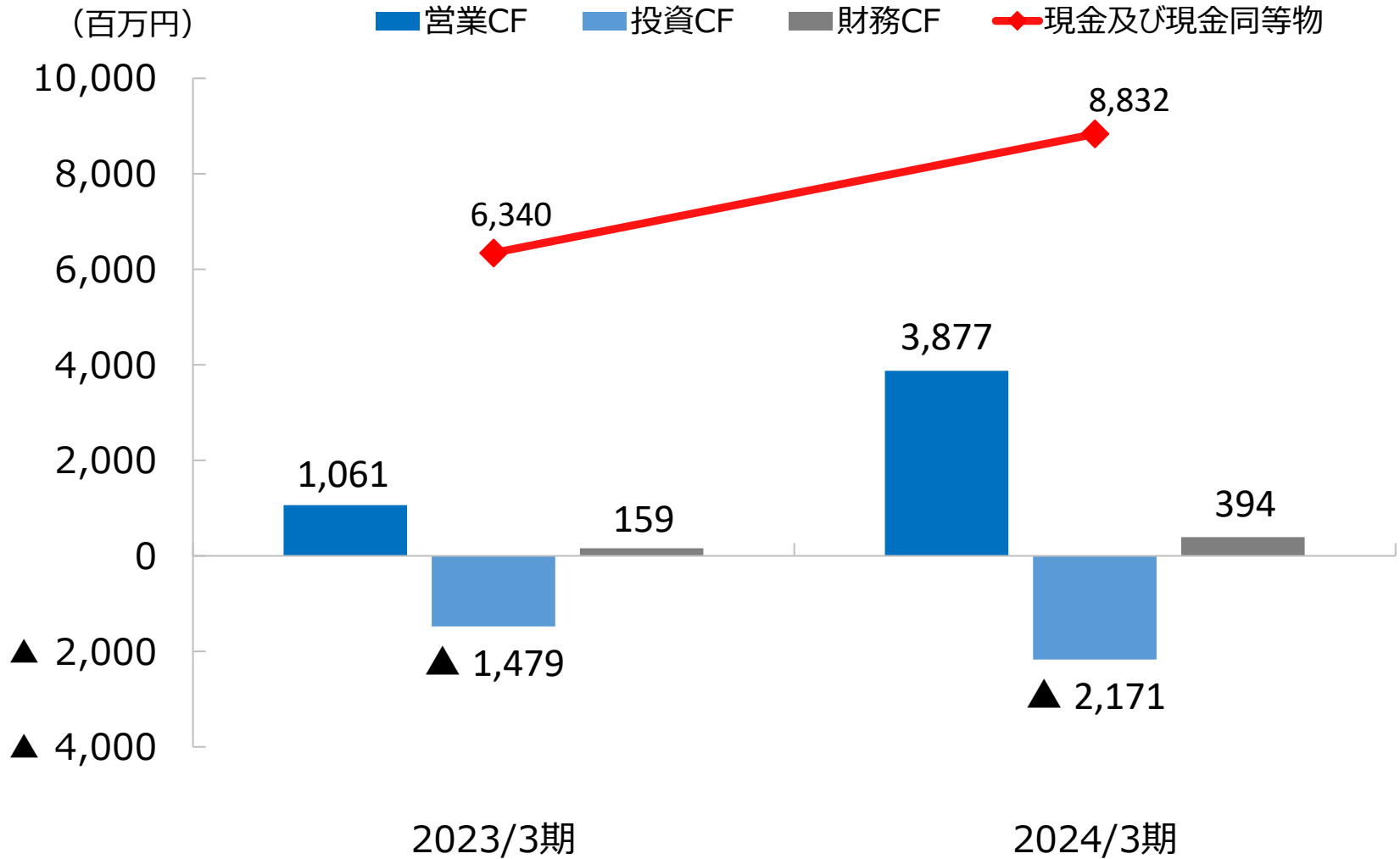


- パワーTRAIN部品
- 電動化部品
- 空調部品
- 車体部品
- 操舵・制御部品
- その他

2024/3期

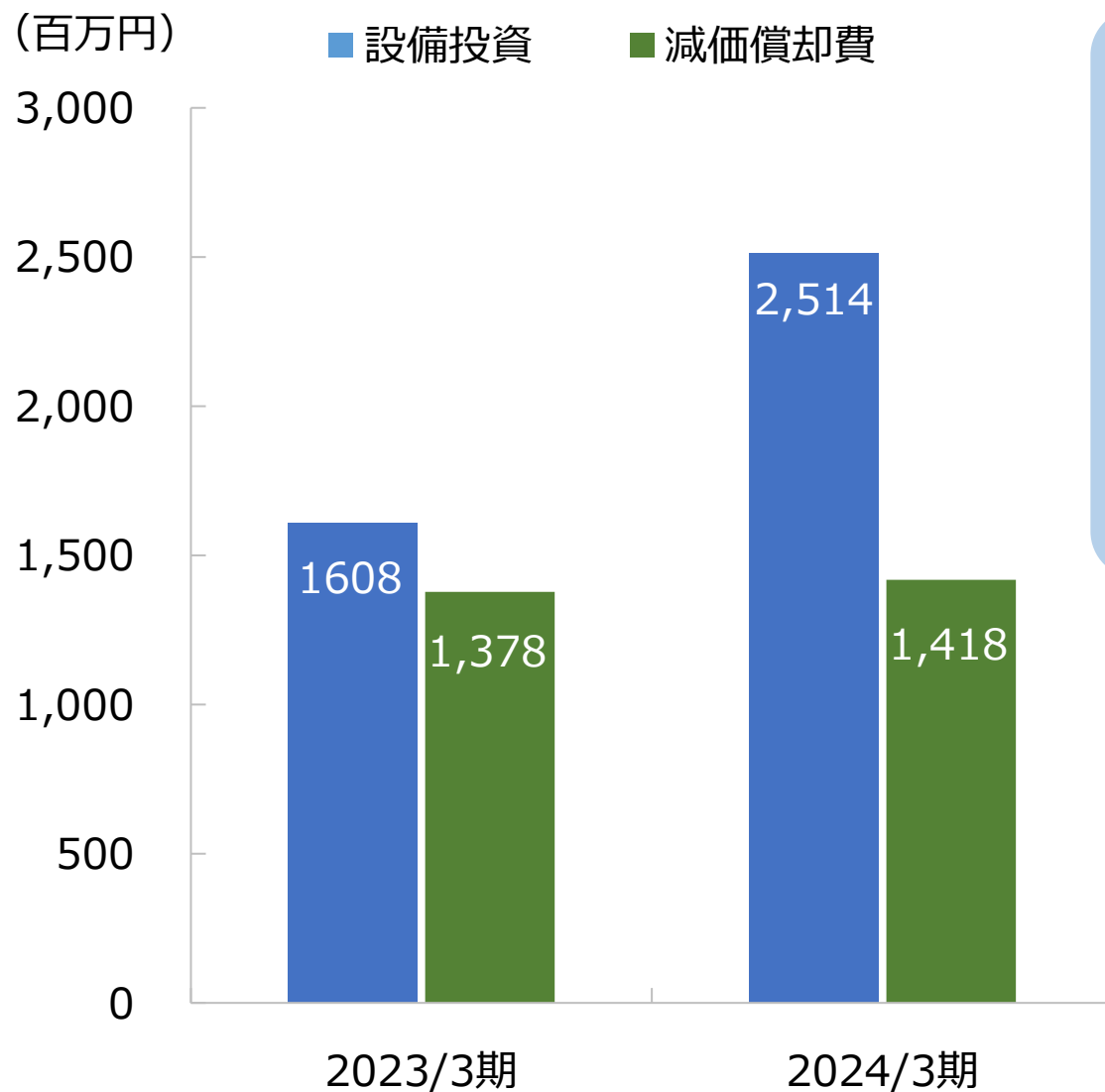
# キャッシュ・フロー

連結



# 設備投資・償却費

連結



## 主な設備投資額

■ 建物	1,345百万円
■ 構築物	153百万円
■ 機械装置	349百万円
■ 工具器具・備品 (金型含む)	372百万円
■ 建設仮勘定	150百万円
■ 無形固定資産	33百万円

# 2024年3月期の振り返り

---

## ◆ 金属関連部品事業の電動化シフト対応

2023年度新規受注獲得金額売上比率 電動化部品：90%、ICE部品：10%

## ◆ ものづくり改善活動の強化

- 安全・5S活動の継続
- 品質・生産性向上に向けた定期的なお客様との共創活動を実施
- 品質目標達成（3期連続）

## ◆ 地球環境・社会への貢献

- カーボンニュートラル実現に向けた取り組み
  - ✓ 全社的に課題解決に取り組む体制を構築
  - ✓ CO2削減目標（Scope 1～3）達成に向けた活動の推進
  - ✓ 廃棄物利用の検討
- 社会貢献活動
  - ✓ 能登地方への災害支援金
  - ✓ 地元イベント（うつのみや花火大会・ジャパンカップサイクルロードレース等）への寄附・子ども向けワークショップ開催
  - ✓ 障害者支援施設のパン等の社内販売による支援

## ◆ 多様な人材活用

- インドネシア実習生の活用

## ◆ 新技術導入や自動化・合理化に向けた設備投資

---

## Ⅱ．2025年3月期の見通しと 今後の戦略



## 自動車業界の動向

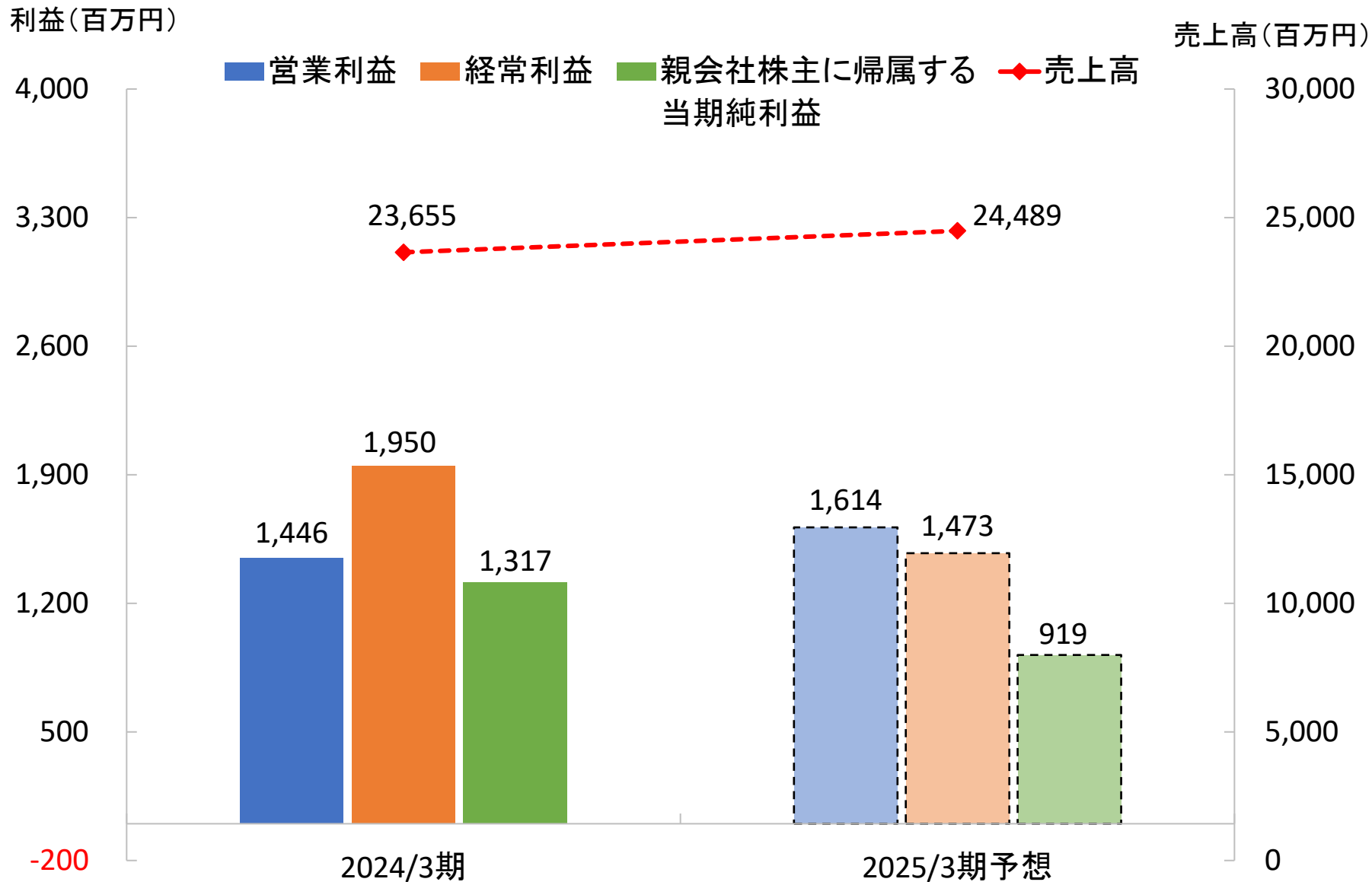
- まだしばらくは認証不正問題の後遺症とそれに伴う生産計画の見直し等により自動車・ユニットメーカーの生産は抑制的となり、不安定な環境が続く。
- 世界的にはロシアのウクライナ侵攻やイスラエルの軍事行動の激化、中国の経済減速と先鋭化、欧州の不調や米国大統領選挙に伴う混乱などにより経済の不安定化が予想され、全体的な市場環境はあまり良くない。
- 自動車業界については、EV化の勢いが鈍化して他の選択肢も必要と再認識されエンジン開発も再開されているが、将来的にはEV化が進むと予想される。

### <連結業績予想>

売上高	:	24,489百万円	(前年比 3.5%増)
親会社株主に帰属する当期純利益	:	919百万円	(前年比 30.2%減)

# 2025/3期の売上高・利益予想

連結



**目標** 電動化に対応しつつ、生き残りに向け新たな収益構造を確立する

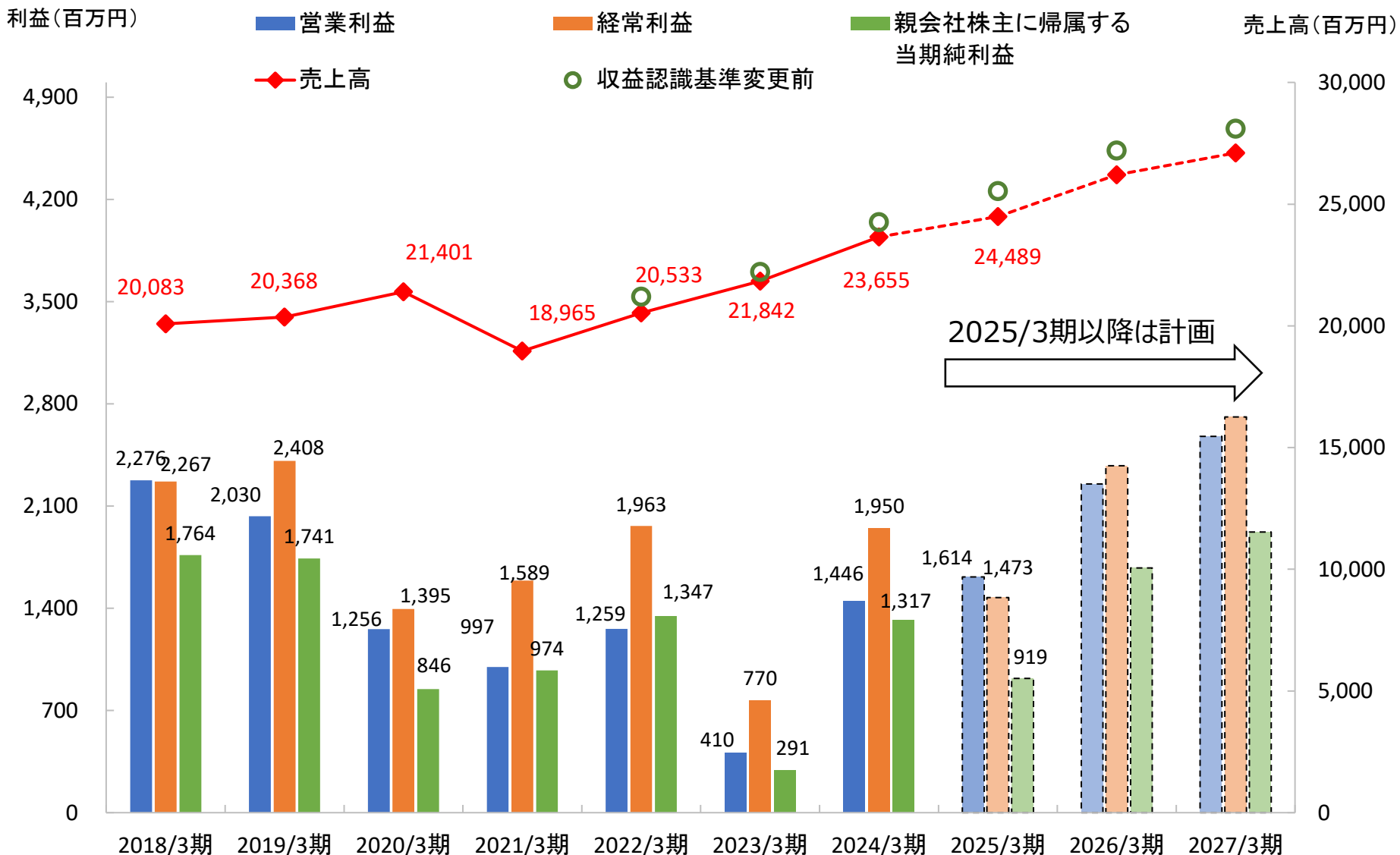
- ◆ 新規成長投資による新規事業創出
- ◆ 事業ポートフォリオ再構築

## 戦略

- 全社
  - カーボンニュートラルの推進
  - 安全と品質（SQ）の重点取り組み継続
  - 自動化推進によるコスト削減
  - 優秀な人材確保のための採用活動強化
  - 社員教育制度の拡充による戦力人材育成
- 金属関連部品事業
  - 電動化部品拡販
  - 自動車産業以外の事業領域拡大
  - 中国工場の売上拡大のための中国市場における営業活動強化
  - 日米中現地供給体制を活用した営業活動強化
- 樹脂関連部品事業
  - 成形製品の売上拡大
  - 自社開発ブランド、MGGP商品ラインナップ拡充
- その他
  - 新分野の製品開発販売

# 売上高・利益の中期計画

連結



# 中期計画の前提・投資計画

連結

設定為替レート USD=148.0円、CAD=108.0円、THB=4.12円、IDR=0.0095円、CNY=20.11円

## 自動車生産台数予測

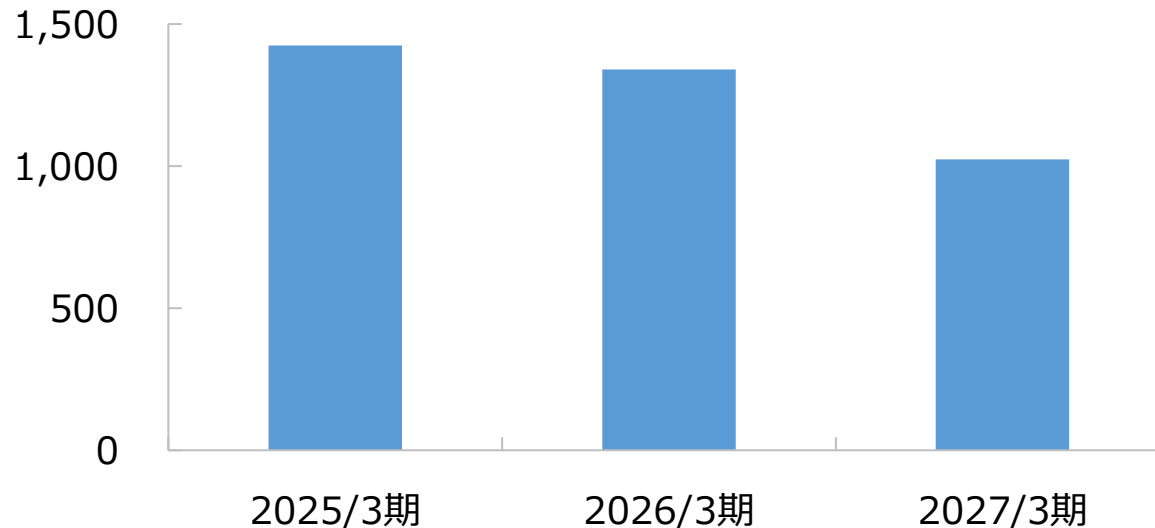
(日系メーカー)

	2025/3期	2026/3期	2027/3期
国内生産	918万台	956万台	958万台
グローバル計	2,756万台	2,901万台	2,969万台

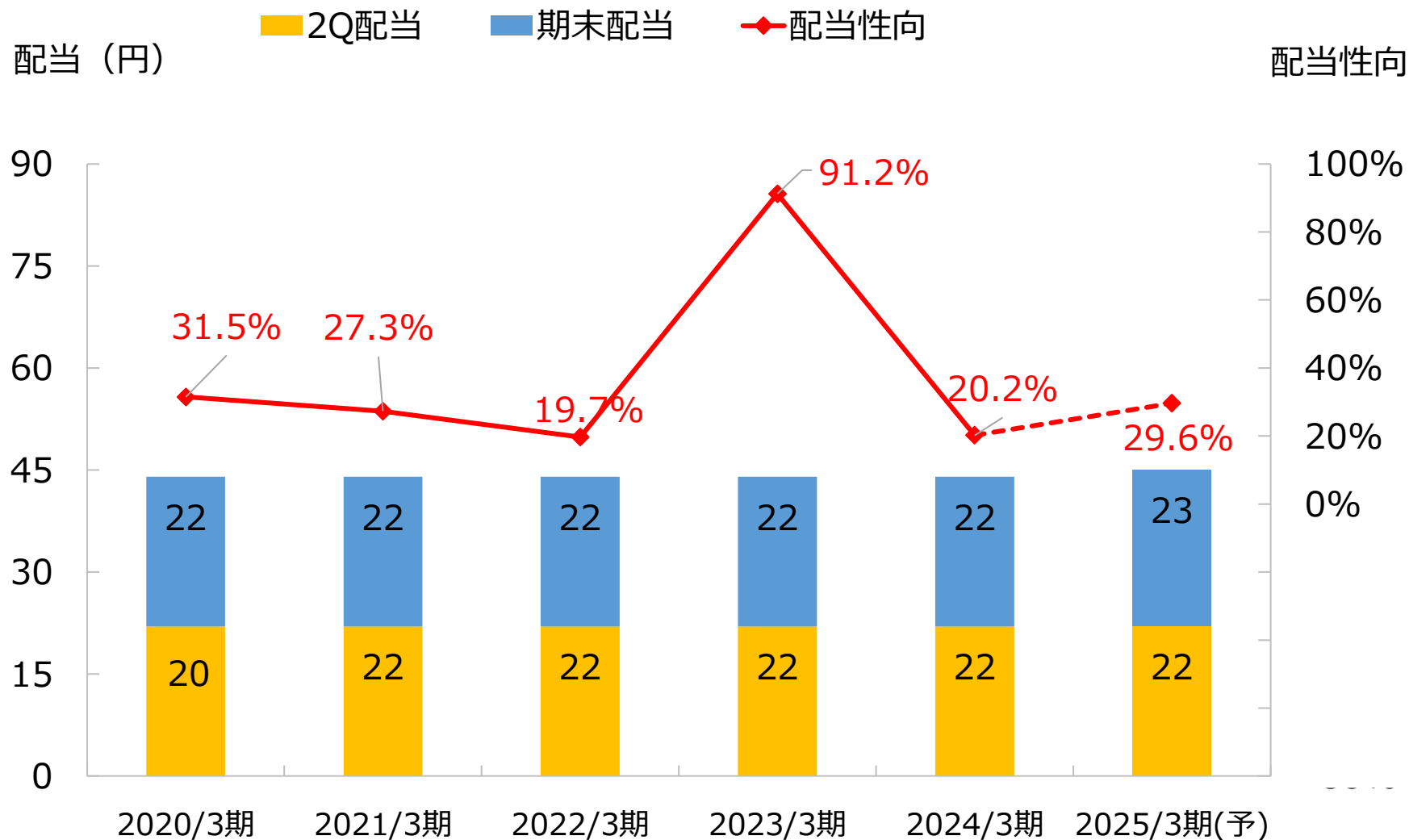
※台数予測の数値は2023年9月時点

## 投資計画

(百万円)



# 配当の状況



---

**ご参考**

**当社トピックスの紹介**

# お取引各社様からの表彰

日野自動車様より『2022年度品質管理優良賞』、トヨタ自動車様より『2023年度原価改善優良賞』と『品質管理優良賞』を受賞しました。今後も、お客様から信頼される会社であり続けられるよう、より一層品質レベルの向上に努めてまいります。

## 日野自動車さま 「2022年度品質管理優良賞」



## トヨタ自動車さま 2023年度「原価改善優良賞」・「品質管理優良賞」





■ 新工場 外観

友部工場を笠間工場に生産機能を集約し、笠間本社工場としました。  
これにより生産能力は1.5倍へ。

社内コミュニケーションも促進され、樹脂事業運営の効率化を目指します。



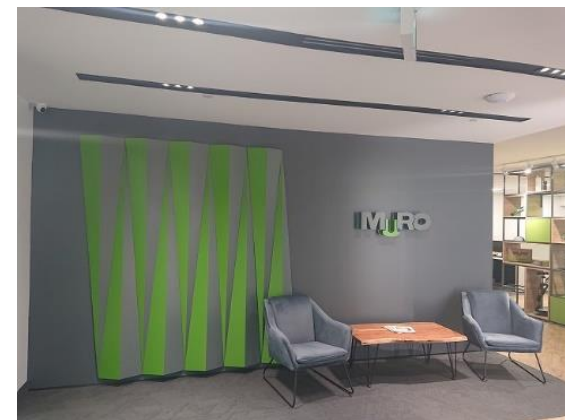
■ 正面玄関

# MURO NORTH AMERICA INC.社屋をリノベーション



社屋外観

築30年以上が経過して老朽化が目立っていた建物を昨年リノベーションしました。  
これにより、優秀な人材の確保とブランドイメージの向上が期待できます。



エントランスロビー

# CO2削減への取り組み

烏山工場では精密棟の屋根に太陽光パネルを設置、2024年3月より運転開始しました。

また、2023年2月より、清原本社工場も精密棟の屋根に太陽光パネルを増設しました。

- 清原本社工場：124kWh
- 烏山工場：160kWh

また、2024年度より、烏山工場および清原本社工場の全使用電力量の10%にあたるグリーン電力を購入しております。

両工場合わせて、約720トン／年のCO2を削減する計画です。

SDGsへの取り組みとともに、社会、地域、地球環境へ貢献できるように、さらなる企業価値の向上を目指してまいります。



清原本社工場 精密棟の増設太陽光パネル



烏山工場の太陽光パネル

# 第73回 栃木県発明協会会長賞を受賞

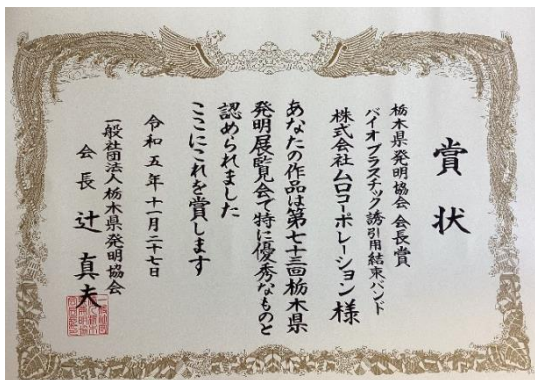
昨年11月、MGGPブランドのecoecoシリーズ  
「結束誘引バンド・メガネ形」が  
「第73回 栃木県発明協会会長賞」を受賞。

\*MGGPは、Muro Group Green Project の略で、ムロ  
コーポレーショングループのサステナブルブランド名です。  
生産から廃棄に至るプロセスにおいて将来にわたり持続可能  
であることを目指し、生態系を含む地球環境や関わる人・社  
会に配慮した製品を企画販売しています。



**MGGPブランド**  
ecoecoシリーズ「結束誘引バンド・メガネ形」

植物の生長を妨げることなく、結束誘引作業を効率的に  
行えます。



# 生産工程の廃棄ガラスを活用したアップサイクルコースターを製作

2023年よりガラス再資源化協議会のご協力のもと、サーキュラーエコノミー（循環型経済）活動を行っています。

その一環として、生産工程から出る廃ガラスからアップサイクルコースターを製作する取り組みを行いました。こちらの製品は非売品ですが、お客様等へのノベルティとして活用しています。

\* アップサイクルとは、本来は捨てられるはずの製品に新たな価値を与えて再生することで、「創造的再利用」とも呼ばれています。



アップサイクルコースター

# ありがとうございました

IRに関するお問い合わせ先



株式会社ムロコーポレーション 管理本部

TEL: 028-667-7122

FAX: 028-667-8808

E-mail: [ir@muro.co.jp](mailto:ir@muro.co.jp)

## 本資料取扱いに関するご注意

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれていますが、これらの記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、将来の業績を保証するものではありません。

将来の業績は、経営環境の変化等により、計画や予想と異なる可能性があることにご留意ください。